

ワークショップ参加企業による発表会！

# OSPOレベル1構築ワークショップ 成果発表会

開催：2026年4月17日（金曜日）

会場：Serendie Street Yokohama（神奈川県横浜市）  
及びオンライン



2025年11月から2026年1月にかけて開催した  
IPA主催の企業向け「OSPOLレベル1構築ワーク  
ショップ」

**ワークショップに参加した企業チームが  
“取り組みの成果”を発表します！**



# 本日の司会進行

IPA デジタル基盤センター  
オープンソース推進担当

今村 かずき



# チェックイン（Slidoの書き込み練習を兼ねて）

## みなさんの“ワクワク”や“不安”を 教えてください！

Slidoの「投票（Polls）」から投稿してください。後ほどフォローアップします。

「投票（Polls）」の  
タブをアクティブに  
する

The screenshot shows the Slido mobile app interface. At the top, there is a blue header with a hamburger menu icon, the text "20251002OSPOレベ...", and a user profile icon. Below the header, there are two tabs: "Q&A" and "投票" (Polls), with "投票" being the active tab. The main content area displays a poll question: "[チェックイン]みなさんの“ワクワク”や“不安”を教えてください！" with a "0" and a speech bubble icon to its right. Below the question is a large white text input field with the placeholder text "回答を入力...". At the bottom right of the input field is a green rounded rectangular button labeled "送信" (Send).

入力して「送信」  
ボタンを押す

# 本日のタイムスケジュール

時間は目安です。進行の状況により前後することがあります。

14:00	オープニング
14:25	ワークショップ参加企業チームによるプレゼンテーション・第1部
15:15	休憩
15:30	ワークショップ参加企業チームによるプレゼンテーション・第2部
16:20	休憩
16:30	ワークショップ参加企業チームによるプレゼンテーション・第3部
17:20	休憩
17:30	チーム座談会
18:20	クロージング
18:30	終了・交流会スタート
19:40	閉場

# Serendie Street Yokohamaの紹介

# 当イベントの諸注意

# 取材・記録のために撮影が入ります

会場にいるみなさんの顔や姿が映り込む場合がありますことをご了承ください。

もし映り込み不可の場合は、その旨を運営スタッフまでお伝えください。

または本イベントの問い合わせ先メールアドレスまでご連絡ください。

機密情報・個人情報の映り込みおよびSlidoへの書き込みにはくれぐれもご注意ください。

# 行動規範

IPA主催オープンソース推進イベントでは、以下の行動規範を適用しています。

当該イベントに参加することにより、以下に記載されている行動規範を遵守することに同意するものとします。

- IPA主催オープンソース推進イベントにおける**グランドルール**
- IPA主催オープンソース推進イベントにおける**アンチハラスメントポリシー**

# グランドルール 1/3

## お互いをリスペクトしよう

どんな意見やバックグラウンドも大切に。相手の立場や考えを尊重し、違いも面白がってみましょう。

## 積極的に耳を傾け、心を開いて話そう

他の人の話を注意深く聞き、自分の感じたこと、考えたことを率直に話してみましょう。一方的にならず、対話を楽しみましょう。

## 「どうすればもっと良くなる？」の視点を持とう

課題や難しいテーマでも、誰かを責めるのではなく、「私たちに何ができるか」「どうすれば改善するか」という前向きな視点で話し合しましょう。

# グラントルール 2/3

## 安心して話せる場を大切に

イベント内の対話で知った個人的な情報や、場を離れて共有すべきでない内容は、大切に扱きましょう。みんなが安心して発言できる雰囲気作りを心がけましょう。

## イベントの時間を有効に使おう

タイムキーパーや進行役の案内に協力して、限られた時間をみんなで有効に使いましょう。

# グラントルール 3/3

## 議論の原則：チャタムハウスルール

議論の内容、そこで得られたアイデアや意見、情報は自由に引用し、共有できます。

しかし、その発言を行った人物が誰であるか、あるいは参加者個人の身元や所属を外部に明かすことは固く禁じられています。

ルールを守った上で…

**本イベントの感想をブログに書いたり、SNSで発信したり、知人に話したりすることは大歓迎です！**

お互いを守りながら議論の発展やイノベーションを促進するために「ルール」は存在します。

発信の際はぜひハッシュタグを！ **#ipaospo #ipa #ospo**

# アンチハラスメントポリシー

ハラスメント行為はいかなる場合でも容認しません。

ハラスメントには以下の行為が含まれますが、これらに限定されません。

- **人種、性別、性的指向、障がい、外見、身体の高さ、国籍、宗教などに関する差別的な言動**
- **わいせつな、あるいは性的な内容を含む言動**
- **他の参加者に対するつきまとい、嫌がらせ、または脅迫**
- **イベントの運営を妨害する行為**
- **上記の行為を無視、奨励、または擁護すること**

会場内での言動だけでなく、イベントに関連したコミュニケーションや、SNS・ブログ等での情報発信も本ポリシーの適用範囲とします。

対象者はイベントに関わる全員（参加者、登壇者、運営スタッフ、イベント協力者など）とします。

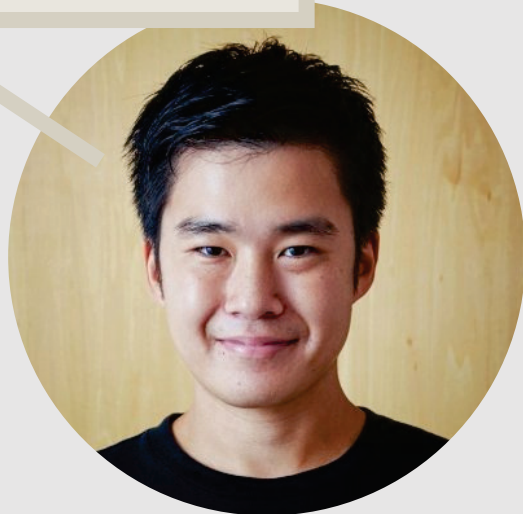
# チェックイン フォローアップ

# IPAオープンソース推進チームの紹介

IPA専門委員

服部 佑樹

GitHub Japan Staff Customer  
Success Architect, The InnerSource  
Commons Foundation President



IPA専門委員

渡邊 歩

株式会社日立ソリューションズ シニア  
OSSスペシャリスト・日立OSPOメンバー  
／The Linux Foundation Japanエバン  
ジェリスト

IPA専門委員

ガオリユウ

Dialogue Design



# OSPO[オスポ]とは

OSPOとは**Open Source Program Office**の頭文字をとった略語です。

**企業や組織において、OSSを効果的かつ安全に活用し、管理し、貢献するための専門部署やチームのことです。**

OSPOは単なる管理部門ではなく、OSSを通じて社内外とつながり、共創や技術革新を推進する「**橋渡し役**」としての役割も担っています。

# 「OSPOLレベル1構築ワークショップ」とは

本ワークショップは、企業がOSSを「安心して使う」ための社内体制、すなわち「**OSPOLレベル1の状態**」を整えることを目指します。

単に答えを教えるのではなく、**参加者自身が考え、自社に最適な OSS 活用推進の考え方を習得し、具体的なドキュメント作成に繋げる実践的なプログラム**です。

## 「レベル1」とは

企業としてOSSがビジネス戦略及びテクノロジー戦略の重要な部分であることを認識し、OSPOLを組織する段階に到達することを意味します。

それはすなわち、“**はじめの一歩**”

# 参加のメリット・効果

- **自社におけるOSS推進の明文化と体制整備**：業務でのOSS活用・管理に関する社内方針・ガイドラインの基盤整備に直結
- **行動計画の具体化**：実践的な行動計画を策定し、部内で展開可能
- **他社の事例・ノウハウの取得**：同様の課題を持つ企業とのディスカッションにより、自社にとって実行可能な戦略を抽出

# 各回のテーマ

- 第1回：OSPOの体制づくり
- 第2回：ポリシー編 1：OSSライセンス
- 第3回：ポリシー編 2：OSS利用における評価と実践

# 全3回の共通の流れ

- 朝礼：会場の諸注意とイベント行動規範を共有
- （第2回以降）これまでのチーム活動のふりかえり
- パネルディスカッション（インプットトーク）：ゲスト講師とメンター陣が各回のテーマに沿った体験談などを共有
- 個人ワークおよびグループワーク
- 終礼：宿題について説明
- 相談会（任意）



ワークショップの様子。参加者がチームで議論しながらワークブックに書き込んでいくワークに取り組んでいる。チームは企業ごとに4人程度で組成されている。参加チーム数は13、ほとんどが製造業の大企業である。

チームディスカッションの様子



他チームの参加者と  
1対1でディスカッション

レクチャー&パネルディスカッション



# OSSライセンスクイズ



レクチャー&パネルディスカッション



ふりかえり



インプットトーク



2人組みディスカッション

# OSPOスターキット（ドラフト版） + ワークブック

2026年4月16日公開

OSPOの設立時または運用時に必要となるドキュメントのテンプレート集。

ワークショップで使用するOSPO導入・理解促進のための体験型資料である「ワークブック」を同時公開。

The screenshot shows the GitHub repository page for 'ospo-starter-kit'. The repository is public and has 1 branch and 0 tags. The file list includes 'operation-templates', 'oss-policy-templates', 'LICENSE', and 'README.md', all with initial commits from 1 hour ago. The README content is visible, featuring a warning icon and the title 'OSPOスターキット ドラフト版'. The text in the README states that the kit is a draft and is intended for use in workshops to help with OSPO establishment and understanding. It lists the included documents and provides a detailed description of the 'A. OSS Policy (Company-wide Regulation) Template'.

ospo-starter-kit Public

main 1 Branch 0 Tags

Go to file Add file Code

ipa-disc-swe initial commit fbbae56 · 1 hour ago 1 Commit

operation-templates initial commit 1 hour ago

oss-policy-templates initial commit 1 hour ago

LICENSE initial commit 1 hour ago

README.md initial commit 1 hour ago

README License

## OSPOスターキット ドラフト版

本キットは、組織においてオープンソースプログラムオフィス（OSPO）を設立し、オープンソースの戦略的な活用と適切なガバナンス体制を構築するためのテンプレート集です。

**⚠️ 開発ステータスと今後の予定**

本キットは現在「ドラフト版（未完成）」です。一部の内容は検討中または作成途中であり、今後大幅に更新される可能性があります。アップデートの状況については、後述の「更新履歴」を参照してください。

### 同梱ファイル一覧と概要

本キットには以下のドキュメントが含まれています。

#### A. OSSポリシー（全社規定）テンプレート（oss-policy-templates/）

社内OSSポリシー（全社規定）を策定する際に参考となる条文サンプルと、その背景・カスタマイズ指針をまとめたテンプレートです。各条文は「条文サンプル」「解説」「カスタマイズの観点と運用上の留意事項」の3セクションで構成されています。

About

組織的なオープンソース活用とガバナンス構築のためのテンプレート集

- Readme
- View license
- Activity
- Custom properties
- 0 stars
- 1 watching
- 0 forks
- Audit log
- Report repository

Releases

No releases published  
[Create a new release](#)

Packages

No packages published  
[Publish your first package](#)

Contributors 1

- ipa-disc-swe

# OSPOスターターキットの位置づけ

OSPOの全体像を知るフェーズ

Linux Foundation TODO Group「OSPO Book」  
= OSPOをつくる・運営するための実践ガイダンス+ナレッジ集

**「OSPOスターターキット」 = OSPO設立支援ツールセット**

## テンプレート



- 全社規定
- 組織体制・役割分担
- 運用ドキュメント  
など



## カスタマイズのヒント

- カスタマイズの際に必要な考え方
- 取るべきアクション  
など

OSPO設立に  
着手するフェーズ

**「OSPOレベル1構築ワークショップ」**


= 「OSPOスターターキット」の使い方や考え方を習得するプログラム

# 登壇チームの紹介

各チームの見どころをひとつひとつ

# 登壇チーム（登壇順）

- 株式会社リコー
- 西日本旅客鉄道株式会社・株式会社JR西日本ITソリューションズ
- 一般財団法人GovTech東京
- ダイキン工業株式会社
- NECソリューションイノベータ株式会社
- パナソニックオートモーティブシステムズ株式会社
- オムロン株式会社
- 株式会社ティーネットジャパン
- ルネサスエレクトロニクス株式会社




# ワークショップ参加企業チームによる プレゼンテーション 第1部

# 第1部ラインナップ

チーム	持ち時間	タイトル
株式会社リコー	20分	OSPO設立で得た学びと成果共有 ～OSPOで変わる、開発と組織の未来～
西日本旅客鉄道株式会社 株式会社JR西日本ITソリューションズ	20分	ゼロから始める鉄道会社のOSSガバナンス ～モダンな開発を安全に推進するために～
一般財団法人GovTech東京	10分	GovTech東京におけるOSPO設置に向けた取り組み

# 休憩

15:30に再開します。




# ワークショップ参加企業チームによる プレゼンテーション 第2部

## 第2部ラインナップ

チーム	持ち時間	タイトル
ダイキン工業株式会社	20分	知財起点でつくる、ダイキンらしい段階型OSPO
NECソリューションイノベータ株式会社	10分	Academic OSPO はじめました ~オープンリサーチ活動のガバナンス~
パナソニックオートモーティブシステムズ株式会社	20分	パナソニック オートモーティブシステムズでOSPOはじめました。~立ち上げから基盤整備まで~

# 休憩

16:30に再開します。



# ワークショップ参加企業チームによる プレゼンテーション 第3部

# 第3部ラインナップ

チーム	持ち時間	タイトル
オムロン株式会社	10分	セキュリティを事業のボトルネックにしないために ~理想の追求から現場起点へ転換したOSPOスタートアップ~
株式会社ティーネットジャパン	20分	かんがえろ、やってみろ、OSPOのために。
ルネサスエレクトロニクス株式会社	20分	属人的なOSS活動から組織的なOSPOへ ~ルネサスに忍びよるコンクラーベ~

# 休憩

17:30に再開します。



# チーム座談会

**【問 1】**  
**OSPOを始めるのに必要な**  
**「ラストワンピース」は何か？**

## 【問2】 誰がリードするのか？



# クロージング



おつかれさまでした!



# 集合写真撮影